

書道学科パンフレット



2022 年 4 月 「図書館ガイダンス」授業風景（1 年生）



2022 年 6 月 安田女子高等学校生徒との書道交流



2022 年 6 月 「書と現代社会」授業風景



「カリグラフィックプレゼンテーション」作品（令月）

2022 年 夏

安田女子大学 文学部 書道学科

《目 次》

【1】沿革.....	P. 2
【2】コンセプト.....	P. 3
【3】本学・本学科の教育と求める入学者像.....	PP. 3-4
【4】書道学科のブランディングタイトル.....	P. 5
【5】学びの内容.....	P. 6
【6】4年間の学び —全学共通の授業科目、「特別科目」「共通教育科目」— .	PP. 7-8
【7】4年間の学び —「専門教育科目」とカリキュラム—.....	PP. 9-10
【8】授業紹介.....	PP. 11-13
【9】取得できる免許・資格.....	P. 14
【10】研究活動.....	P. 14
【11】卒業後の進路につながるサポート.....	P. 14
【12】行政との連携活動.....	P. 15
【13】社会への発信 —書道学科主催行事—.....	P. 15-16
【14】社会への発信—公開講座—.....	P. 16
【15】卒業後の進路〈一般企業等〉.....	PP. 17-18
【16】卒業後の進路〈教職〉.....	PP. 19-21
【17】1年生の声.....	PP. 23-26
【18】2023年度入学試験〈書道関係〉.....	PP. 27-28
【19】年間スケジュール.....	PP. 29-30

《書道学科教職員紹介》



信廣 友江（教授/学科長）



大迫 正一（教授）



谷口 邦彦（教授）



増田 知之（准教授）



井田 明宏（助教）



松村 理恵（教務職員）

◎客員教授： 魚住 和晃（卿山）・尾崎 建治（蒼石）

【1】沿革



井上桂園書（1966年）

1966年（昭和41）、安田女子大学の開学とともに「安田の書道」は始まりました。めざすのは純正の書道、そして書道を通した人間教育。それから約半世紀が経ちました。この間、変わることのない理念のもとで、書道の「いま」を考え、「これから」を展望して、多くの学生たちが真摯に書を学び、堅実な社会人として巣立ってまいりました。

1966	昭和 41	1 月	安田女子大学創設
1966	昭和 41	4 月	安田女子大学文学部開学 文学部日本文学科内に〈書道専修〉を設置
2001	平成 13	4 月	日本文学科は〔日本文学〕〔書道文化〕の2コース制となり、 〈書道専修〉は〈書道文化コース〉へと呼称を変更
2002	平成 14	4 月	日本文学科は〔日本文学〕〔書道文化〕の2専攻に分割され、〈書 道文化コース〉は〈書道文化専攻〉として独立
2011	平成 23	4 月	日本文学科書道文化専攻を改組し、〈書道学科〉を開設 学科1期生（書道46回生）入学
2015	平成 27	3 月	学科1期生卒業
2022	令和 4	4 月	学科12期生（書道57回生）入学

ひたむきに、しなやかに、大胆に 書道学科。 — [書道学科開設時のキャッチコピー]
「安田の書道の学生」は常に現在進行形。いつも目標を持って学書に取り組んでいます。

【2】コンセプト

コンセプトは、美意識をもって文字^{コトバ}を書くこと。

〈美意識〉は書の芸術性を、〈文字^{コトバ}〉は書の学術性をあらわします。また、〈美意識〉は一人ひとりの個性を、〈文字^{コトバ}〉は人と人とのコミュニケーションをもあらわします。

日常生活で普通に用いている文字^{コトバ}は、実は非常に大きな「書」の文化を背景としています。文字は、過去だけでなく、いまと、そして未来をつなぎ拓くための根本を支えるツールでもあります。

書道学科は、こうしたツールの根本を多様な視点から追求し、社会の幅広い分野で先導的な役割を果たす人、そして指導者として書写書道の発展に貢献できる人を養成します。

【3】本学・本学科の教育と求める入学者像（抄）

*詳細は、安田女子大学公式ホームページ掲載の「3つのポリシー・アセスメントポリシー」をご参照ください。

1. 安田女子大学の教育方針について

本学は、建学の精神である「柔しく剛く」を具現化するために、諸学の知識を広く深く教授研究し、自尊の人格、豊かな教養、思いやりの心を持つ真に自立した女性を育成し、有為な人材として社会に送り出すことを目的として、学生の知的、道徳的及び応用的能力の育成・展開を図っています。

2. 安田女子大学が養成する人材像

本学は、建学の精神「柔しく剛く」に基づく本学の目的を達成するために、人を思いやる豊かな人間性、高い倫理観を持ち（柔しく）、諸領域での専門的知識・技能に精通し、現代社会の諸課題を見いだして解決策を創造し表現する力を持ち（剛く）、社会の中で主体的に行動できる人材を養成します。

3. 書道学科が養成する人材像

本学が養成する人材像に基づき、「人を思いやる豊かな人間性と高い倫理観を持ち、書道に関する専門的知識と実技能力を有し、書道文化人としての素養を生かして幅広い分野で先導的な役割を果たす職業人、高等学校芸術科書道教員、中学校・高等学校国語科教員等の指導者として、書写書道分野の発展に貢献できる人材」を養成します。

4. 書道学科の教育目標

本学科で養成する人材が卒業時に身につけておくべき能力・態度を達成することを教育目標とします。

5. 書道学科の教育内容

書道学が漢字文化圏の文化を支える歴史性・思想性・芸術性に富む学問であることを踏まえ、豊かな人間性と高い倫理観、そして幅広い教養の上に、書道学の専門性を身につけることを、学科教育の基本方針とします。

具体的には、書道の学術面を追求する「書学」、芸術面を追求する「表現」の2領域を専門領域の骨格に置き、教養教育・専門教育が有機的に組み合わせられた4年制教育課程を編成します。

主要な教育内容は、次の6つにまとめられます。

1. 書道の指導的役割を担い、書道文化を体現する専門的職業人としてのヒューマニズム・倫理観の育成
2. 書道の指導的役割を担う専門的職業人としての知識・技能・態度の育成
3. 問題点を自ら発見して解決するための応用力の育成
4. 自己研鑽を続けながら後継者を育成する能力の育成
5. 社会性とコミュニケーション能力の育成
6. 多様性を受容して理解する能力の育成

6. 安田女子大学が求める入学者

積極的で、向上心に富み、人間と自然を愛し、旺盛な学修意欲を持って、異なる考え方や文化を尊重し、主体的で他者との共生を図りながら社会で活躍したい人を求めています。

地域社会、日本及び世界の諸課題に関心を持ち、文学、教育学、心理学、ビジネス学、家政学、薬学、看護学等に関心を持つ人並びに本学及び各学部・学科の教育目標に共鳴し、他者と協力して課題を発見・解決しようとする熱意を持つ人を広く求めます。

7. 書道学科が求める入学者

本学が求める入学者像に基づき、次のような人を求めます。

1. 文字文化に関する幅広い知識・教養を身につけようという学修意欲のある人
2. 書道に関する専門的知識や技量を高めようという意志のある人
3. 書道を通して自己の感性を高め、ものごとを柔軟に探求しようとする人
4. 書道学の学修を通して広く文化一般に対する理解を深め、書道を生かして社会に貢献しようとする人

【4】書道学科のブランディングタイトル



— 〈書道〉の継承と〈SHODO〉の発信—

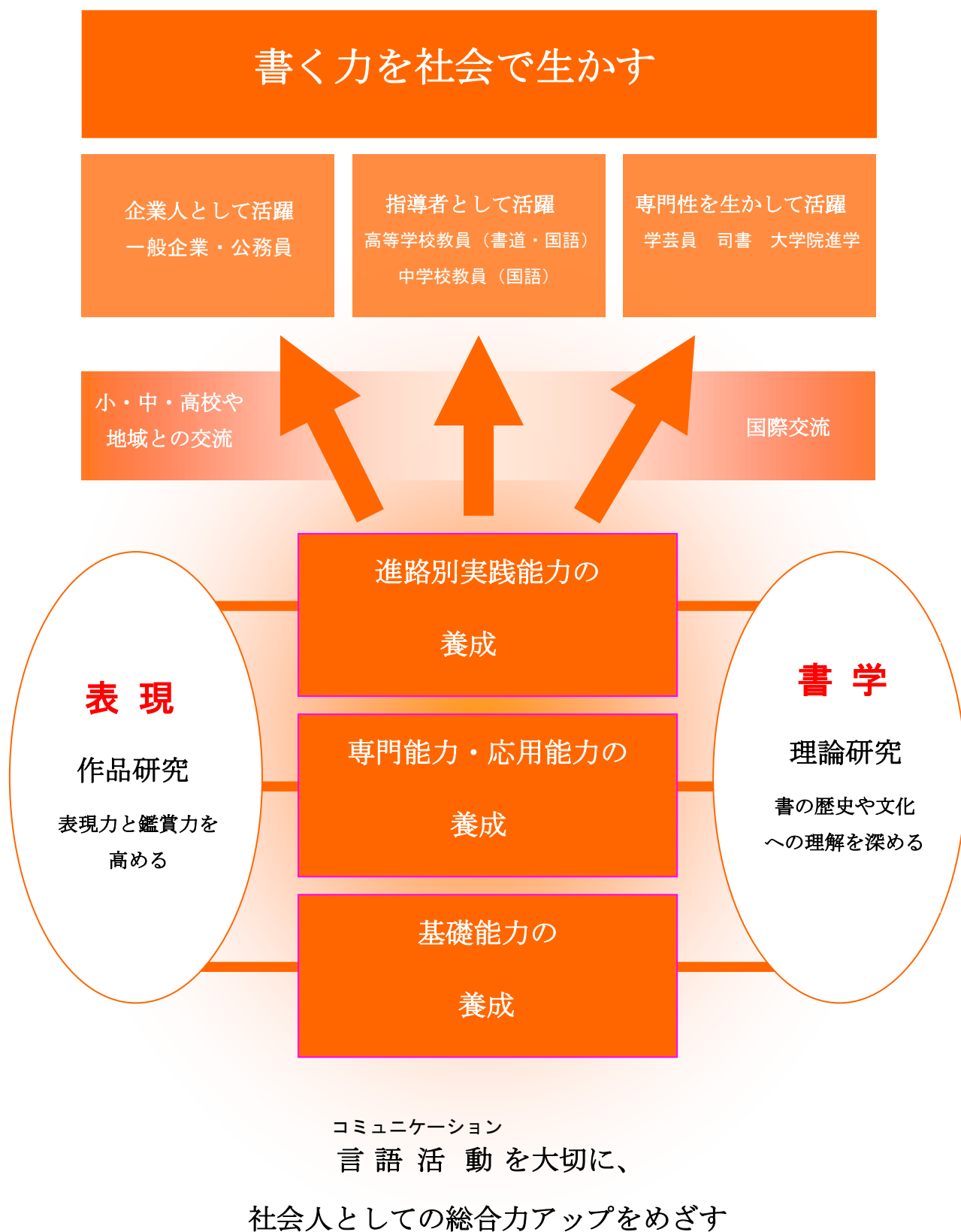
安田女子大学書道学科は、古典研究を基軸とする中立中正の堅実な書道教育を行い、書の伝統を継承します。

同時に、伝統の中に新規性を見出す取組みを進め、グローバルな視点のもと、広くSHODOの発信を行い、書の発展とその一層の活性化をめざします。

学科の諸活動にはすべての学生が積極的に加わり、他者との協働を通して書道能力のみならず、企画運営力、コミュニケーション力等々の人間力を身につけて卒業後の進路に繋がります。

伝統の上に新たな世界を拓いて前進を続ける書道学科。
本学科は、〈伝統と革新〉をブランディングタイトルとしています。

【5】 学びの内容



【6】4年間の学び ―全学共通の授業科目、「特別科目」「共通教育科目」―

本学では、「人格の完成をめざす」という教育理念の実現を図り、広い範囲にわたる授業科目を準備しています。

本学を卒業するためには、**128 単位以上**の単位取得が必要です（薬学部を除きます）。

全学共通の科目…「特別科目」	4 単位
「共通教育科目」	3 2 単位以上
学科別の科目 …「専門教育科目」	9 2 単位以上

(1) 特別科目：「まほろば教養ゼミ」

本学独自の特色ある科目で、1 年次から 4 年次まで開講されます。この授業では、チューターが学生と密にコミュニケーションを図りながら指導助言を行い、学生自身が自らの人格形成の道筋を修得していきます。

(2) 共通教育科目：3 分野で構成。全学部全学科に共通して開講される科目

1. キャリア科目

「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」「ボランティア活動」「インターンシップ」「職と食―パティシエ実習」

2. 教養科目（※次ページに講義題目の一部を掲載）

「人間論 A・B」「こころの科学 A・B」「からだの科学 A・B・C」「人間形成の科学 A・B」「ことばの世界 A・B」「日本の文学 A・B」「世界の文学 A・B」「芸術 A・B」／「現代社会と人間 A・B」「21 世紀の社会と法 A・B」「21 世紀の経済 A・B」「現代のビジネス A・B」「現代社会と政治 A・B」／「異文化理解 A・B」「日本の歴史と文化 A・B」「世界の歴史と文化 A・B」「国際協力 A・B」／「数学の世界」「自然科学の世界 A・B・C」「生命の科学 A・B・C」「環境の科学 A・B」「生活の科学 A・B」「情報の科学」

3. 基礎科目

- a. 情報処理科目 (4 単位必修)：「情報処理基礎Ⅰ～Ⅳ」「情報処理演習 A～D」
- b. 健康スポーツ科目：「健康スポーツ A～D」「野外活動」
- c. 外国語科目 (6 単位以上必修)：「英語リーディングⅠ・Ⅱ」「英語ライティングⅠ・Ⅱ」「英語コミュニケーションⅠ～Ⅳ」「中国語コミュニケーションⅠ～Ⅳ」(選択)：「北米文化語学演習」「中国文化語学演習」
- d. 基礎養成科目：「基礎国語演習」「基礎社会演習」「基礎数学演習」「基礎理科演習」「基礎生物演習」「基礎科学演習」「基礎物理演習」

■このほかに、「教員免許状に関する科目のうち教職に関する科目」「資格に関する科目」「他学科科目」「単位互換科目」があります。

2020 年度開講 教養科目 講義題目(一部)	
経済学－世界と日本の経済	身の回りの化学－自然界にある毒と薬
経済の歴史－富と格差	情報工学－情報メディアとそれを支える技術
法学－国際社会と法	情報科学－コンピュータは人を超えられるか
働くということ－男と女	道德教育学－いじめ・体罰の深層を考える
予防医学入門－健康増進と疾病予防	教育学－近世の女子教育
進化心理学－協力する心の不思議	社会福祉－子どもと家庭の福祉
政治心理学－福祉・コミュニティと地域政策	幼児教育学－子どもと遊び
認知心理学－認識と知識に関する心の科学	哲学－生と知の探求
臨床心理学－トラウマの理解とその対処	医学からみた生命倫理
対人コミュニケーション論－人と人の関係	倫理学－人と人との関係
日本語学－ことばのゆれ	映画による社会学
言語学－ことばと世界の捉え方	数学の世界－数学で賢く生きる
英語学－英語の豊かな表現技法	中国の古小説－神と鬼と夢、異界との交流
国際関係論－世界における日本の立ち位置	アメリカ文学－『若草物語』を読む
環境と健康－人と地球の環境問題	東アジア歴史学－古代中国の国際関係
美術史－西洋の美	歴史学－中国の現代史
美学－ドイツリートの世界とその周辺	比較宗教学－現代社会と宗教
デザイン学－ボーダーレス社会とものづくり	住居学－住むということ・住まいと生活
書学－日本の書	衣服学－着るということ・飾るということ
美学－筆跡の美とその多様性	神経科学－脳と行動
書学－中国五千年の書法美	予防医学－食と病
ビジネス理論－グローバル化に対応できる力	ウイルス流行史－感染と流行の仕組みを知る
経営学－マーケティング入門	生命科学－老いるということ
流通－ものが動くということ	生命科学－病気の起こり方を知る
現代文化学－中国の言語と文化	公衆衛生学－人類と感染症との闘い
マスメディアと地域社会	養護学－こころと身体のメカニズム
現代社会と家族	古典文学－平安王朝文学の世界
スポーツ考－オリンピックがもたらすもの	日本の演劇－歌舞伎から現代へ
国際理解－グローバル化と多文化社会	近世文学－文学作品に描かれる人々
環境学－資源クライシス・気候変動	現代文学－小説に見られる女性たち
科学史－科学を作った人たち	近現代文学の開拓史－ミステリー小説の興亡
宇宙科学－宇宙と地球	外国人から見た日本文学
化学－無限に広がる物質世界の探検	日本史学－20 世紀日本の歴史
健康長寿の科学－文化と生物のはざま	外国人から見た日本文化論
脳と心の科学－脳と心の病を知る	日本の伝統文化－歌舞伎・能・狂言

【7】 4年間の学び — 「専門教育科目」とカリキュラム —

■特徴 1. 〈基礎〉から〈応用〉へと、順に積み上げるカリキュラム

⇒ 初心者の方も確実に実力をつけていくことができます。

2. 幅広い知識・技法の修得を可能とする科目構成

⇒ 伝統的書道科目を基軸とし、それに関連させた日本・中国の文化・文学や、「書と現代社会」のように書に関わる現代の課題を考える科目、「カリグラフィックプレゼンテーション」「ビジネス概論」など社会における書の活用を学ぶ科目まで幅広く配置。一人ひとりの個性・適性や目的に応じて学修を深めることができます。

■構成 1. 3分野 + 自由科目で構成

基本科目 卒業研究	書学基礎／表現基礎／卒業研究	33	合計 72単位 以上	合計 92単位 以上
展開科目	書学領域／表現領域	39		
関連科目	日本の文化・文学／中国の文化・文学 社会における書の活用			
(自由科目)	教職・資格に関する科目／他学科科目			

2. 「基本科目・卒業研究」「展開科目」は、

ステージⅠ から **ステージⅢ** まで、学修段階を追って配置

段 階	目的・内容		学 年	授 業 科 目
ステージⅠ	高校との接続及び補完・大学書道教育への導入【必修】		1年次前期	基礎ゼミ、楷書Ⅰ、行・草書Ⅰ、 仮名Ⅰ、硬筆書写
ステージⅡ	学部教育としての書道基礎【必修】	書道基礎教育Ⅰ 〈基礎固め〉	1年次後期	書道概論、楷書Ⅱ、 行・草書Ⅱ、仮名Ⅱ
		書道基礎教育Ⅱ 〈専門への導入〉	2年次	書道史Ⅰ・Ⅱ、篆・隸書Ⅰ、 漢字仮名交じりの書
ステージⅢ	書道専門教育【選択必修】		2～4年次	書論、執筆理論、石碑と法帖、 鑑賞、書道と芸術、水墨画 等
	独自重点教育【必修(一部選択必修)】		1～3年次	書道特殊実習Ⅰ～Ⅵ
			4年次	卒業研究Ⅰ・Ⅱ、卒業論文[含： 卒業作品]

專門教育科目配置一覽

(2021年度入学生)

1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期
ステージⅠ 〈導入〉	ステージⅡ 〈基礎〉					ステージⅢ 〈専門〉	
基 本 科 目 (必修)			卒 業 研 究 (必修)				
高校との接続及び補完・大学書道教育への導入	学部教育としての書道基礎 (基礎固め)	学部教育としての書道基礎 (専門への導入)				学科独自の重点教育	
初年次教育Ⅰ	初年次教育Ⅱ	基礎教育Ⅰ	基礎教育Ⅱ			専門研究Ⅰ	専門研究Ⅱ
基礎ゼミ 楷書Ⅰ 行・草書Ⅰ 仮名Ⅰ 硬筆書写 ★書道特殊実習Ⅰ 〈一部集中〉	書道概論 楷書Ⅱ 行・草書Ⅱ 仮名Ⅱ ★書道特殊実習Ⅱ 〈一部集中〉	書道史Ⅰ 篆・隸書Ⅰ 漢字仮名交じりの書 ★書道特殊実習Ⅲ 〈一部集中〉	書道史Ⅱ ★書道特殊実習Ⅳ 〈一部集中〉			卒業研究Ⅰ 卒業論文 (含卒業作品)	卒業研究Ⅱ 卒業論文 (含卒業作品)
		ステージⅢ 〈専門〉					
		展 開 科 目 (選択必修)					
		書 道 専 門 教 育					
		専門教育Ⅰ	専門教育Ⅱ	専門教育Ⅲ	専門教育Ⅳ	専門教育Ⅴ	
		古文書学Ⅰ 表具と修復〈集中〉 執筆理論〈集中〉 行・草書Ⅲ 色彩学 絵画・デッサン	書論 石碑と法帖 篆・隸書Ⅱ 篆刻・刻字	古筆と墨跡 書と現代社会 古典研究 創作研究 カリグラフィックプレゼンテーション ★書道特殊実習Ⅴ 〈一部集中〉	鑑賞 作品研究Ⅰ 水墨画 書写 書道実地研究 (研修旅行) ★書道特殊実習Ⅵ 〈一部集中〉	作品研究Ⅱ 〈一部集中〉 書道と芸術〈集中〉	
関 連 科 目 (選択必修)							
日本語学概説Ⅰ 日本文学概説Ⅰ 中国文学概説Ⅰ 日本文化論Ⅰ	日本語学概説Ⅱ 日本語音声学 日本文学概説Ⅱ 中国文学概説Ⅱ 日本文化論Ⅱ	日本語学講読Ⅰ 日本文学史Ⅰ 日本語文章表現演習 日本文学演習Ⅰ 中国文学演習Ⅰ 日本文化史Ⅰ	日本語学講読Ⅱ 日本文学演習Ⅱ 中国文学演習Ⅱ 日本文化史Ⅱ	日本語史 中国文学講読Ⅰ 中国文化論Ⅰ ビジネス概論	日本語口頭表現演習 中国文学講読Ⅱ 中国文化論Ⅱ ビジネス実務演習	1. ★は学科独自の重点教育科目 (ステージⅢに相当)。〈通常授業〉と〈集中授業〉で構成 2. 自由科目は省略 3. それぞれの科目の内容については、大学HPのシラバスをご覧ください	

【8】授業紹介



＜基礎ゼミ＞

書道学科での学修内容を、講義やグループ活動（ディスカッション、プレゼンテーション）を通し、体系的に学んで理解を深めるとともに、4年間の自己の目標を探っていきます。今年は専任教員4名が担当し、学術的テーマを強く意識した内容のもと、レポート執筆やグループ研究を行いました。

＜楷書Ⅰ～Ⅱ＞

まず高校書道Ⅰで学習する楷書古典を取り上げ、時代や用筆運筆から生じる表現技法の違いを捉え楷書書法の基本を学びます。書体の変遷から見て一番最後にできた楷書は現代でも使われており、作品制作を通して楷書の役割についても考察していきます。

＜行・草書Ⅰ～Ⅲ＞

行書・草書は表現の幅が広く、＜書く＞という楽しみの幅も無限。行書は日常書として普段からよく使う身近なものであり、草書は線や造形表現がとにかく楽しい書体。王羲之を中心とする様々な古典の臨書を通して行書・草書の知識と書法を着実に身につけ、自力で創作する力を養います。

＜仮名Ⅰ～Ⅱ＞

高等学校の芸術科書道での学習をうけて、仮名書法の基礎と、仮名古筆臨書の基本を学習します。また仮名Ⅱでは、仮名Ⅰで学んだ基本的用筆法をもとに、書法・書風の異なった平安朝古筆の臨書活動をすることで、さらに高度な仮名書法の習得をめざします。

＜作品研究Ⅰ～Ⅱ＞

書は造形表現の一つです。書の作品を制作していくうえで、必要不可欠な知識・技術がたくさんあります。そうした作品制作の方法について総合的に学習します。さらに作品制作を通して、書は＜書くもの＞から＜創るもの＞へと意識を変えて、創造することの楽しさと難しさを学びます。

＜書写＞

小・中学生への書写指導の内容を理解し、実技力を身につけていきます。小・中学校の書写授業の内容だけでなく、将来子どもたちに正しい書き方を教えられるよう進めていきますので、教員免許取得希望者に限らず全員に履修してもらいたい授業です。





＜書道概論＞

文字の上に美意識を重ねたところに書道は生まれます。こうした書道の特質について、書体・書法・文化・歴史・芸術・教育・心理等々、様々な視点から概観して理解を深め、現代における書道のあり方や将来像について考えます。日本文学科の学生と一緒に学ぶ授業です。

＜書道史Ⅰ＞

書道は、中国で発生・展開した漢字を表現媒体として成立する特殊な芸術です。漢字のさまざまなスタイルで書かれた悠久の中国書道史の名品をビジュアルに鑑賞し、さらに魅力あふれる書人達に関する文献資料などによって、書道史を平板にならないように講述します。

＜書道史Ⅱ＞

中国の文化の一つとして日本に漢字が伝えられ、日本の書道史がはじまりました。そして「かな」がつくれ、「和様」など日本独自の書体・書風も確立されていきました。そうした文化としての日本の書とその特質、また連綿と続く中国の書との関わりにも注目しながら日本の書の歴史を学修します。

＜書論＞

書論とは、単に書法理論というばかりではなく、書に関するあらゆる言説をいいます。中国語（漢文）で書かれた原典に接し、それを翻訳、さらに解説を加えて、その研究方法をやさしく論じていきます。

＜石碑と法帖＞

書を学ぶ上での基本資料に石碑と法帖があります。石碑はより広義に言えば石刻といってもよいでしょう。法帖はいわば手紙の書といえましょう。王羲之などの古典は真跡が無く、石刻、法帖によって伝えられています。真跡とは異なる味わいがあり、これらの実物を手にとって、学んでいきます。

＜書道特殊実習Ⅰ～Ⅵ＞

1年次から3年次までの3年間段階を追って開講するもので、学生各人が設定した課題を追究し、4年次の卒業研究作品へと繋いでいきます。7月初、夏休み、冬休みには集中授業として3学年合同の通い合宿を行い、学年を超えた縦割りグループをつくって書き込みます。一人ひとりの個性が大きく育つ本学書道伝統の科目です。



■ 特色ある科目



＜カリグラフィック プレゼンテーション＞

グラフィックデザインの視点から文字・書をとらえ、花押をアレンジしたオリジナルロゴマークの制作、オリジナル名刺の制作、マーケティングにマッチングした商品ラベルの企画立案などを行います。日本酒ボトルデザインの優秀作は毎年商品化しています。書を社会で生かす実践的能力が身につきます。



＜表具と修復＞

日本と中国の表具の歴史を紹介し、表具の構造や材料の特性について論じます。永く伝えられた技術が今なお生き続ける理由を理解し、現在と未来に役立つ表具の基礎知識を習得することができます。表具実習を適宜組み合わせて行い、技能をも習得していきます。2日間の集中講義で開講しています。



＜書と現代社会＞

現代社会と書との関わりについて、「書と筆跡心理」「書と筆跡鑑定」「書とコンピュータグラフィックス」の3つの柱を立てて分野ごとに考察を深め、これからの書のあるべき姿を展望します。いずれも今求められる大切な課題といえます。それぞれの専門家が、最新情報を提供しながらオムニバス形式で展開します。

＜古筆と墨跡＞

平安時代から鎌倉時代の和様の書跡である「古筆」と、鎌倉時代以降に流行した禅僧の書である「墨跡」を取り上げ、その文化が生まれた歴史背景、また著名な人物、作品、書風、表具、料紙などについて理解を深めます。「古筆」「墨跡」を通して、日本の書道史をより深く、より専門的に学んでいく科目です。



【9】取得できる免許・資格

■書道学科では次の免許・資格を取得することができます。

1. 高等学校教諭一種免許状（書道・国語）
2. 中学校教諭一種免許状（国語）
3. 学校図書館司書教諭
4. 司書
5. 学芸員 （注）組み合わせにより4年間では取得できない場合があります。

【10】研究活動

■研究発表会の実施

書道を深く学び、学問としての書を追求する場として「書法文化研究会」を開設しています。年に数回実施する「研究発表会」では学部生や大学院生が自分の研究テーマに関する発表をするとともに、書画文物等の鑑賞会を行って参加者が相互に学術交流を行います。そのほか、身近なテーマでの研修会なども計画しています。

【11】卒業後の進路につながるサポート

■書写ボランティア

安田小学校のアフタースクール（硬筆・毛筆書写）、安田幼稚園・安田幼稚園安東園舎の硬筆書写教室における指導アシスタントをすることができます。とくに教職や指導者をめざす学生たちにはぜひとも体験してほしい活動です。このアシスタント経験者から、何人もの人が教採に合格しています。

■各種イベントへの参加

海外の方や地域の子どもたちとの書道交流、書道パフォーマンスの披露、また大会への出場等、さまざまなイベントへの参加機会があります。今年は安田女子中学高等学校との書道交流が加わりました。これらの活動を通して書道技量はもちろん、書の活用力やコミュニケーション能力も飛躍的に向上し、就職活動や社会人としての生活の中でおおいに役立っています。

■教員採用試験対策補講

教員採用試験の合格をめざした様々な補講を行っています。これらの取り組みを通して試験に向けた学習を積み重ねるとともに、教員としての意識を醸成していきます。

■文科省後援毛筆書写検定、硬筆書写検定資格の取得

毛筆書写検定・硬筆書写検定の1級合格をめざして定期的に練習会を開き、指導を展開して合格実績を上げています。

【12】行政との連携活動

■筆の都、広島県安芸郡熊野町との包括連携協定

2022年3月21日、熊野町と安田女子大学は包括連携協定を締結しました。今後、熊野町と安田女子大学書道学科は、包括的な連携のもと相互に協力し、筆文化及び地域社会の振興と発展に寄与してまいります。今春は熊野町「筆の日」（3月21日）関連事業として、熊野町の支援を受けながら学生たちが様々な筆の日イベントを展開しました。

【13】社会への発信 ―書道学科主催行事―

■学生作品展

○ 第8回秋の臨書展 ‘22 書道学科作品展Ⅰ－Ⅲ ―8th Calligraphy Festival―

冬の卒展併催学科展に対する秋の臨書展。1～3年生が「書道特殊実習」で制作した作品を展示します。

日 程	2022年 9月26日（月）～10月7日（金）
会 場	安田女子大学7号館3階書道展示室・9号館アトリウム
出品者	書道学科 1年～3年 *全員

○ 第54回卒業制作展・（併催）書道学科展・（併催）安田小・中・高等学校書道展

4年間の学修成果を発表する卒業制作展。併催展として1～3年も出品し、全学年が参加します。安田小・中・高等学校の生徒作品も展示。ぜひご来場ください。

日 程	2022年 2月14日（火）～ 2月19日（日）
会 場	広島県立美術館 地下1階県民ギャラリー
出品者	書道学科 1年～4年 *全員 安田学園小・中・高等学校 生徒

■公募展

○ 第8回インターネット国際書道展【グローバル書道@YASUDA】

インターネットを活用した国際書道展。学齢前の子どもたちから一般の方まで、また海外の方もふくめ、すべての人を対象とする公募展です。

分 野	硬筆の部・毛筆の部・文字デザインの部
締 切	2022年11月11日（金）

※ 募集要項は、学科ホームページに公開しています。

○ 第17回全国高校生〈書道〉S-1グランプリ

高校生が一堂に会して行う席書大会。コロナ禍により、2020・2021年度は出品形式で実施しました。本年度は2年ぶりに席書によるS-1グランプリを開催します。

期 日 2022年 8月21日（日）

会 場 安田女子大学 体育館

※ 第3回オープンキャンパスのプログラムとして実施します。

※ 募集要項は、書道学科ホームページに公開しています。

【14】社会への発信 ー公開講座ー

■一般の方（教員、中・上級者）を対象とした専門講座

書道文化、書道教育、書表現に関する専門講座を開講します。

第1回 7月30日（土） 料紙装飾ー染紙・継紙ー （担当 井田明宏）

第2回 8月 7日（日） 金文作品制作の方法と実践Ⅰ （担当 大迫正一）

第3回 10月8日（土） 書道教育実践研究講座Ⅰ （担当 谷口邦彦）

第4回 9月 3日（土） 料紙装飾ー金箔・銀箔・唐紙ー （担当 井田明宏）

第5回 3月25日（土） 書道教育実践研究講座Ⅱ （担当 谷口邦彦）

第6回 3月26日（日） 金文作品制作の方法と実践Ⅱ （担当 大迫正一）

※ 募集要項は、書道学科ホームページに公開しています。

■高校生を対象とした高大連携講座 終了しました

2001年から続く恒例の「高校生のための書道講座」を今年も開講します。

期 日 2022年 8月 4日（木）

会 場 安田女子大学7号館 7305・7306教室

日 程

10:00～11:30 高野切第三種の臨書 （担当 井田明宏）

12:30～14:00 蘭亭序の臨書 （担当 谷口邦彦）

14:10～15:40 九成宮醴泉銘の臨書 （担当 谷口邦彦）

※ 募集要項は、書道学科ホームページに公開しています。

また、本冊子の22頁に掲載しています。ご参照下さい。

【15】卒業後の進路〈一般企業等〉

書道学科（書道文化専攻・書道文化コース・書道専修）学生の就職は、実は教職に限らず定評があります。「字が書ける」こと、そして、書道学修を通じて培われた「人間力」は、社会に出たのち、大きな力となって活躍の場を広げます。

■就職率

2022年度	100%	2020年度	95.0%
2019年度	100%	2018年度	100%
2017年度	92.9%	2016年度	100%
2015年度	95.2%	2014年度	100%

■2021年度の進路先

営業事務	日本通運、理研産業、やまや、ライオン事務器、広島市農業協同組合、晴れの国岡山農業協同組合
事務（一般職）	ダイトテック、デジブリ、三置技研、佐世保中央自動車学校、広島クミアイ燃料、明光、リトル・ワンズ
販 売	エイジェック、キャン、フランス屋、大進本店
教 育	岡山県立高等学校教諭（書道）、山口県立高等学校教諭（書道）、広島県立高等学校非常勤講師（書道2名）
進学・その他	高松市医師会看護専門学校、あんずペットクリニック、厳島神社

■大学院進学

書道学科を卒業後、安田女子大学大学院文学研究科日本語学日本文学専攻へ進学して、より深く書道を学ぶことができます。

＊大学院では、高等学校教諭専修免許状（書道・国語）・中学校教諭専修免許状（国語）を取得することができます。

■卒業生の声■

株式会社桑原組 環境リスクマネジメント事業部
有吉 奏音（2020年3月書道学科卒業）

大学時代は日頃の授業に加えて、書道学科の様々な活動に学生がより主体的に取り組むことができるような環境の整備を積極的に行いました。同学年の友人と書道合宿のシステムを変更したり、書道学科の共有スペースである教室や倉庫を清掃したりしました。書道学科は人数が少ないため、各自が活躍できる場が必ずあり、同学年だけではなく他学年との関わりも多くあります。そうした中で、自分らしさを見つける、または自分自身を変えるきっかけを作ると良いと思います。

現在は、株式会社桑原組の広島本社に勤務し、主に解体工事を行っている環境リスクマネジメント事業部に所属しています。主な業務は、解体工事が問題なく着工し、円滑に進むことができるよう事務処理サポートをすることや、若手社員を中心にInstagramや社内報の記事作成をすることです。

社内報は入社1年目の時に、内容と作成方法に課題を感じ、改善提案をあげ、リニューアルしました。また、2年目からは後輩指導や採用活動が業務に加わり、若手社員であってもたくさんの挑戦や経験をすることができます。書道学科での経験が、現在の業務にとっても役立っていると思います。（2021年12月記）



■卒業生の声■

富士フイルム ビジネスイノベーションジャパン株式会社 熊本支社 営業一部 営業1グループ
小川 志織（2020年3月書道学科卒業）

私は大学時代に書道交流イベントへ積極的に参加してきました。国内外問わずたくさんの方と関わることができ、書を通して言葉の壁を越え、コミュニケーションをとることの楽しさを感じました。このような経験を通じて、就職活動の際には「人と関わる仕事」を軸に企業・業種を選びました。その結果現在勤務している富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社熊本支社（旧富士ゼロックス熊本株式会社）へ営業職として入社しました。富士フイルムの複合機を利用してくださっているお客様を担当しており、業務に関する困りごとを解決するお手伝いをしています。複合機の



印象が強い会社ですが、お客様の業務を少しでも楽にするためにネットワーク環境や基幹システムなど多方面からアプローチしています。

もうすぐ入社3年目を迎えます。お客様から「小川さんありがとうございます」と言ってもらえるように日々丁寧な対応を心がけています。思うようにスケジュールが進まない日もあり臨機応変な対応が求められますが、それさえも楽しみながら働きたいと思っています。

（2021年12月記）

【16】卒業後の進路〈教職〉

書道学科（書道文化専攻・書道文化コース・書道専修）は教員養成で定評があり、創設以来、多くの人材を教育現場に送り出しています。教職を目指す学生・卒業生にとって、最大の目標は都道府県教育委員会が実施する「教員採用候補者選考試験」への合格。書道学科では、教採合格のための細やかな指導を継続して行っています。夏季休暇中の教採特講では、在学生と卒業生が合流し、火花を散らし合うように真剣に勉強します。尚、2011年度からの実績につきましては、21頁の「教員採用試験結果情報」をご参照ください。

安田女子大学書道学科の自慢：それは、教職志望の学生・卒業生が相互に助け合い、高め合う姿勢を持っていることです。互いにアドバイスし合いながら切磋琢磨し、その中で全員の力量が飛躍的に向上していきます。

■合格者の声■

広島県・市【高等学校（書道）】合格

岡田 彩（2020年3月書道学科卒業 広島県立府中東高等学校 教諭）

私は、高校時代は書道部ではなく他の部活に励んでおり、書道は授業で学ぶ程度だったのですが、恩師の助言と指導を受け、安田女子大学への進学を決めました。はじめは、周りとの実力差を不安に感じ、授業についていけないのではと心配していましたが、授業は基礎から学ぶことができる内容で、高校時代に書道の経験がほとんどない私でも、楽しく学ぶことができました。

高校書道の教員になりたいと思ったのは、大学3年の夏頃で、それまでは、大学生活を大いに楽しみました。放課後は友達と一緒に学校に残って作品を書いたり、授業の課題に取り組んだりしていました。旅行へもたくさん出かけました。何か特別なことをして教員になれたのではなく、当たり前なことを当たり前に行うことで、知らず知らずのうちに教員としての資質や力が身についたのだと、安田で学んだことのありがたさを感じています。

高校の教員として働き始めて3ヶ月が経ちましたが、授業をはじめ生徒指導や部活指導など、教員の仕事はとても多いです。思い通りにいかないことの連続ですが、生徒の反応を楽しみながら、毎日を忙しく過ごしています。生徒と本気で向き合い、生徒の成長を見守り、そして同時に私も成長し続けていけるよう精進を重ねていきたいと思います。（2020年6月記）



■合格者の声■

山口県・市【高等学校（書道）】合格

門 美来（2022 年 3 月書道学科卒業 山口県立下関西高等学校 教諭）

幸運にも大学 4 年時に教員採用試験に合格し、山口県の高教員（書道科教諭）になって 2 ヶ月が経ちました。地元でも屈指の伝統校で、卒業生の多くは各界の第一線で活躍しておられます。

現在、書道以外にも国語（古典）や進路関係の授業を担当しています。新たな発見の連続で、生徒から学ぶことの方が多い毎日です。教員の仕事は、授業以外にも校務分掌や部活指導など多岐にわたりますが、常に教員間で連携を図ることが求められていると肌で感じます。校務分掌は必ず一人一役ありますが、私は授業関係の役割を任せられています。決して一人でできるものではなく、80 人の先生方と連携を図りながら、何度も確認したり、助けていただいてミスすることなくできています。

大学時代を振り返ると、書道学科でも学生主体の運営にあたり一人ずつ役割が任せられます。私は、オリゼミのリーダーやオープンキャンパスを担当しました。コロナ禍で、案が二転三転しながらも、先生方や他学年、他学科と連携を密にすることで何とかやり遂げることができました。責任感をもってやり遂げる経験を書道学科で重ねることができたからこそ、今の私があると感じます。考えるよりも行動するタイプの私は、アルバイトなど学外での活動との両立を図り、忙しいながらも教員に必要な資質・能力を身につけることができたように思います。

先日、初めての文化祭で書道パフォーマンスを行いました。ここぞという時の生徒のやりきる力に目を見張りました。この「やりきる力」を原動力に、私も生徒とともに成長できるよう日々精進していきたいと思います。（2022 年 7 月記）



■合格者の声■

岡山県・市【高等学校（書道）】合格

小河原 望海（2022 年 3 月書道学科卒業 岡山県立津山高等学校 教諭）

大学 4 年時に岡山県の教員採用試験に合格し、4 月から岡山県立津山高等学校で書道と中学校の書写を担当しています。津山高校は明治 28 年開校の今年 128 年目を迎える歴史と伝統を誇る学校で、写真の校舎は国の重要文化財に指定されています。中高一貫校で、6 年間の学びの過程を見ることができるという点でとても興味深く、生徒の成長を学年の違いを通して実感することができます。好奇心旺盛で純朴な生徒が多く、授業も部活動も活気に満ちています。

着任早々高校 2 年生の担任を任せられ、忙しい毎日を送っています。若いということもあり、生徒から相談を受けることも多くなってきました。6 月に初めての修学旅行を経験できたのは良い思い出になりました。

振り返ると、書道学科に入学当初は自分に自信が持てず目立つ方ではありませんでした。オリゼミリーダーや学科内の係を担当していくうちに人前で話すのも苦でなくなり、教員になるという夢が現実のものになっていきました。そこには共に学ぶ仲間がいたこと、そして心優しい自分に育ててくれた安田という環境があったからこそと思っています。今後壁にぶつかることもあると思いますが、大学 4 年間で成長できたことを糧に日々精進していきたいと思っています。（2022 年 8 月記）



■公立学校教員採用試験合格実績（2011年度～）

試験実施年度	都道府県・市	校 種	教科/科目	現役生	卒業生	合 計
2021年度	広島県・市	高等学校	書道		1名	4名
		特別支援学校（高等部）	書道		1名	
	山口県	高等学校	書道	1名		
	岡山県	高等学校	書道	1名		
2020年度	広島県・市	中学校	国語		1名	3名
		高等学校	国語		1名	
	山口県	中学校	国語	1名		
2019年度	広島県・市	高等学校	書道	1名	1名	3名
		特別支援学校（高等部）	書道		1名	
2017年度	福岡県	中学校	国語		1名	1名
2016年度	広島県・市	高等学校	書道	1名	2名	4名
		中学校	国語		1名	
2015年度	広島県・市	高等学校	書道		2名	4名
		特別支援学校（高等部）	書道	1名		
	京都府	中学校	国語		1名	
2014年度	広島県・市	中学校	国語	1名		3名
	山口県	中学校	国語	1名	1名	
2013年度	広島県・市	高等学校	書道		1名	5名
		特別支援学校（高等部）	書道	1名		
			国語		1名	
		中学校	国語		1名	
	山口県	中学校	国語	1名		
2012年度	広島県・市	高等学校	書道	1名	1名	7名
		中学校	国語	2名		
		小学校	全		1名	
	東京都	中学・高等学校	国語	1名		
	島根県	中学校	国語		1名	
2011年度	広島県・市	高等学校	書道		4名	4名
				14名	24名	38名

※広島県・市以外の卒業生数は、本学把握分を掲載しています。

■私立学校専任教員採用実績（2014年度～）

採用年度	都道府県・市	校 種	教科/科目	現役生	卒業生	合 計
2019年度	福岡県	中学・高等学校	書道	1名		1名
2018年度	兵庫県	中学・高等学校	書道	1名		2名
	山口県	中学・高等学校	書道・国語	1名		
2016年度	広島県	中学校	国語	1名		2名
	岡山県	高等学校	書道	1名		
2015年度	広島県	高等学校	書道	1名		1名
2014年度	岡山県	高等学校	国語	1名		1名
				7名		7名

【17】1年生の声

・私は高校生の時、書道部に在籍しており「大学でも書道を学びたい」という気持ちが強かったので、安田を志望し入学しました。

入学当初は学校に慣れることができるのか、勉強についていけるのかがとても不安でしたが、優しい先生方や新しい友達のお陰で、何とか楽しく過ごすことができています。入学前から覚悟はしていましたが、やはり書道学科という特殊な学科に集まる人たちなので、技術や知識のレベルが高いです。ですが、私は人と比べずに「自分らしく楽しむ」を考えて、自分と向き合っ書くことを意識して頑張っています。

サークル活動では、演劇部に入りました。ずっと演じることに興味があったので、この4年間を楽しむチャンスだと思い、入部を決意しました。現在は6月末に行われる文化展の公演に向けて練習に励んでいます。今回は裏方ですが、11月に行われるのまほろば祭では演者として舞台に立つことができるかもしれないので、それを目標に精一杯先輩を見習いたいと思います。

学校生活はまだまだ慣れないことがたくさんありますが、何でもポジティブに考えて楽しんで物事に取り組んでいきたいと思っています。

(島根県出身 M.Y)

・入学して最初の頃は授業についていけるか不安でしたが、だんだん慣れてきて、あまり考えすぎず、なるようになると思えるようになりました。けれども、1時限目から授業がある日は朝7時に家を出るので、かなりきつくて睡眠不足になることが多いため、家に帰ったらすぐに課題などを終わらせて、早く寝るようにします。

書道の授業は勉強になることばかりでとても楽しいです。先生方の説明はわかりやすく、また、友達の手いたものを見て学ぶこともできて、この2ヶ月の間だけでも前よりも上手くなった気がします。これから積極的に大会に出品したり勉強したりしてもっと成長していきたいと思っています。

(広島県出身 H.T)



・私は高校の時に書道の授業を取っておらず、部活動でしか書道をやっていなかったのが正直不安でした。しかし大学の書道の授業でしっかり基礎から学ぶことができたので不安はなくなりました。授業でやってこなかった分、いろいろな古典に触れて、たくさん書き込みをして技能を身につけていきたいです。

私はほとんどの土日、午後前に学校に来て 17 時ぐらいまで友達と一緒に書いています。友達と一緒にここどうやって書くのかとかどうやったら上手く書けるのかという相談ができるので力が付いている気がします。4 月の作品と比べても筆の全面を使って書くのがとても楽になりました。

(島根県出身 M.S)



・高校では、授業で書道を選択し、書道部に所属していたので、書道についてより学びたいと思い、書道学科に入学しました。大学では、書体などによって授業がそれぞれあり、他にも日本語についての授業もあり、書道漬けの毎日です。名前しか知らなかったことも、より深く知ることができて、とても興味深いです。

一人暮らしと大学生活の両立は、慣れるまで大変ですが、だんだんと時間を上手に使っていけるようになってきました。先生も先輩も優しく、しっかり書道について学べて、毎日充実しています。

(山口県出身 H.N)

・一人暮らしを始めて約 2 ヶ月経ちましたが、まだまだ慣れないことばかりです。授業が一限目から始まる時は朝早く起きて準備をします。五限目が終わって帰宅しても私一人なので夜ご飯やお風呂を済ませ、課題をして次の日に備えて寝坊しないように早く寝ます。毎日同じようなことの繰り返しで、夜は特に寂しくなりますが、母と連絡を取りつつ、なんとか大学生活を送っています。私の小さな楽しみは、自炊です。初めは下手でしたが、少しずつ慣れて毎日色々なメニューに挑戦できると、自信がつきます。何か一つでも楽しみを見つけることで、生活も鮮やかになっていくのでまた新たな楽しみを自分の中で見つけていきたいと思います。

(広島県出身 M.Y)

・入学して2ヶ月がたち、やっと少しずつ学校生活や一人暮らしとの両立ができるようになってきました。入学して最初の4月は初めての一人暮らしで慣れないことばかりで毎日辛くて「あー。しんどい」とネガティブな気持ちばかりで「楽しくないな。帰りたい」とか考えていたけど、友達もでき少しずつ余裕ができてきて、買い物にいたり遊んだり気分転換に料理を作ったりと、何かをして毎日が充実できるようになりました。

(広島県出身 Y.M)



・私は書道学科に入学して想像していた以上に充実した生活を送っています。人間関係はとても良好で普段仲良い人たちは勿論、それ以外の書道学科の人たちとは特にオリゼミを通して同じ分団で関わることができ、オリゼミが終わった今でもよく話せるようになったことがとても嬉しいです。書道学科は他の学科と比べて少し特殊な学科で学生みんな幼い頃から習っている人もいれば高校の部活のみの人もいて全員が今までのスキルがバラバラでそれに加えて得意分野、苦手分野が様々だけどそれぞれのスキルに合うような授業カリキュラムで理解しやすいです。先輩方とは一部ではありますが関わることができ、優しい方ばかりで自然と「私もこうなりたいな」と思える先輩ばかりです。これから様々な行事や日常生活を通して貴重な経験ができると思うので今まで以上に充実した生活を送りたいと思います。

(広島県出身 T.T)



・私は大学生になり、友だちができるのか正直不安でした。何もわからないまま大学に入学し、ひとりで物事をこなせるのか心配でした。入学して2カ月経った今、友だちがたくさんできました。これもオリゼミのお陰です。入学して1カ月後にオリエンテーションセミナー（通称オリゼミ）があります。2泊3日で江田島少年交流の家でグループになり、活動します。グループが発表されるのは4月の最初でした。その後、オリゼミへの活動を通して友だちがたくさんできます。安田女子大学は楽しくて充実した時間を過ごせる場所です。皆さんの入学をお待ちしています。

（山口県出身 S.S）

・私は鹿児島県出身で一人暮らしをしています。掃除や料理など全て自己責任なので、計画立ててすることが大切だと感じています。

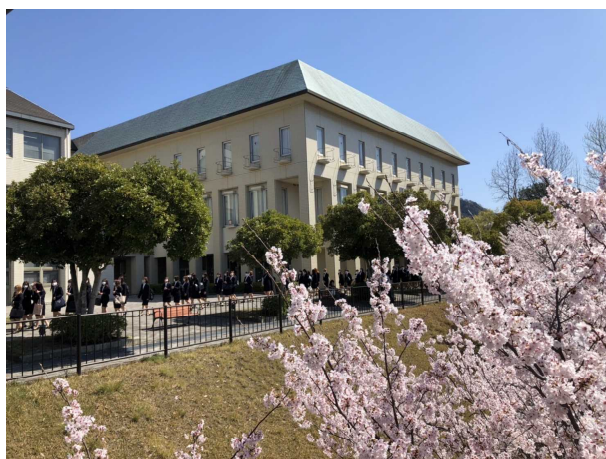
中高で書道部に所属していましたが、楷書と行書しか触れておらず、行書に関してはほぼ独学だったので不安がありましたが、先生方が基礎から教えてくれるのであまり書道に触れてこなかった人でも安心して授業を受けることができます。

学内の設備も整っていて過ごしやすく、充実した大学生活を送ることができます。

（鹿児島県出身 A.M）

・私は福山市から高速バスを使用して、通学しています。家から学校まで、約2時間かかります。私がこの生活を2ヶ月続けてみて感じたことは、「辛くはない」ということです。朝は5時頃に起きて始発のバスに乗って広島に行き、家に帰るのは22時を過ぎることもあります。この生活が辛くないのは私が書道が好きで、毎日学校に行くのが楽しみだからです。そのため、もし少しでもこの生活が無理そうと思ったら一人暮らしがいいと思います。

（広島県出身 S.H）



【18】2023年度入学試験（書道関係）

* 括弧内は、『2023入学試験ガイド』のページ数です。必ず原本をご確認ください。

■自己表現型選抜 試験日：10月1日（土）・2日（日）（pp.12～14）

授業理解試験、面接、自己推薦書、調査書、書道実技（作品提出）を資料として、総合的に判定。面接は5分程度。質疑応答に加え、資料を持ち込んで「自由表現」を行ってもよい。書道実技（作品提出）の評価は、自己推薦書に加える。

・ 授業理解試験	150点
・ 自己推薦書（書道実技を含む）	50点
・ 面接	100点

■総合型選抜（専願） 試験日：11月12日（土）（pp.16～17）

基礎学力調査、面接、出願書類（自己推薦書、調査書）、書道実技（作品提出）を総合的に判定。書道実技（作品提出）の評価は自己推薦書に加える。

・ 基礎学力調査（国語/英語、各100点）	200点
・ 面接	100点
・ 自己推薦書（書道実技を含む）	50点
・ 調査書	50点

■総合型選抜（併願） 試験日：11月20日（日）（pp.18～19）

基礎学力調査、自己推薦書、調査書を総合的に判定。書道実技（作品提出）の評価は自己推薦書に加える。

・ 基礎学力調査（国語/英語、各150点）	300点
・ 自己推薦書（書道実技を含む）・調査書	50点

■学校推薦型選抜（指定校） 試験日：11月20日（日）（pp.22～23）

小論文、高等学校長の推薦書・調査書を資料として総合的に判定。

・ 小論文（800字程度）	5段階評価
---------------	-------

※書道実技試験は行いません。

■一般選抜（前期日程：A日程・B日程・C日程）（pp.26～29）

試験日：A-2月1日（水）・B-2月3日（金）・C-2月4日（土）

学力試験、調査書を資料として総合的に判定。

・ 国語	100点
・ 英語または数学	100点

※書道実技試験は行いません。

■一般選抜（後期日程） 試験日：3月10日（日） （pp.30～31）

学力試験、調査書を資料として総合的に判定。

- | | |
|----------|------|
| ・国語 | 100点 |
| ・英語または数学 | 100点 |

※書道実技試験は行いません。

■大学入学共通テスト（前期日程） 出願：1月6日（金）～20日（金） （pp.34～37）

大学入学共通テストの得点と調査書を資料として総合的に判定。

- | | |
|---------------------------|------|
| ・国語 | 100点 |
| ・地理歴史/公民/数学/理科/外国語から1科目選択 | 100点 |

※書道実技試験は行いません。

■大学入学共通テスト（後期日程） 出願：2月17日（金）～28日（火） （p.38）

大学入学共通テストの得点と調査書を資料として総合的に判定。

- | | |
|-------------------------------------|------|
| ・国語 | 100点 |
| ・地理歴史/公民/数学/理科/外国語から2教科2科目選択（各100点） | 200点 |

※書道実技試験は行いません。

■社会人特別選抜 試験日：11月12日（土） （p.44）

小論文、面接、調査書を資料として総合的に判定。

- | | |
|--------------|-------|
| ・小論文（800字程度） | 5段階評価 |
| ・面接 | 5段階評価 |

※書道実技試験は行いません。

■書道実技試験出題範囲 （p.81）

次の臨書課題3点を試験当日持参し、試験監督者に提出。

半紙使用。記名なし。選択個所はいずれも随意。

- | | |
|---------------|--------|
| ・楷書「九成宮醴泉銘」臨書 | 4～6字 |
| ・行書「蘭亭序」臨書 | 4～6字 |
| ・仮名「高野切第三種」臨書 | 和歌一首程度 |

■すべての入試形態において

合格者を対象に、書道オリエンテーションを実施します。

習熟度に応じて、入学前の学習や練習のしかたを個別にアドバイスします。

実施時期や内容等の詳細については、合格者に対して別途通知します。

【19】年間スケジュール

4

入学式
新入生歓迎会
新入生歓迎スポーツフェスティバル
新入生歓迎クッキングセミナー



5

オリエンテーションセミナー



6

文化展



7

前期試験
卒業論文・作品中間発表
書道学科客員教授講演会



8

全国高校生<書道>S-Iグランプリ
平和イベント



9

夏合宿
後期授業開始
臨書展



10

青空祭
臨書展
就職支援OGシンポジウム



11

大学祭学科展・書道展



12

卒業論文提出
卒展合宿
冬合宿



1

卒業論文発表会
後期試験



2

卒業制作展(1~3年書道学科展併催)



3

書道実地研究(京都・滋賀)
卒業式・卒業パーティー





書道学科の詳しい情報につきましては、こちらをご参照ください。

URL: <https://www.yasuda-u.ac.jp/course/shodou/>

